

# ほけんだより 9月号

社会福祉法人アオの会 西東京市立1号ゆめ保育園 2017年9月1日(金)発行

先日は梅雨の頃の気候にふたり、再び残暑に見舞われたり、落ち着いた天候の8月でした。先日、腹痛の為、事務室で休んでいたお母さんが、腹痛が治まり、クラスに戻り廊下を歩いていた時に、何人の子が「だいじょうぶ?」と、心配そうな声を掛けてくれた事に、相手の痛み、フウき等が分かるからこえてくる言葉です。相手も思われその場に喜びを感じたとともに、とろがその心を持ち続けて欲しいと願った瞬間でした。

9月はだんだんと朝夕と日中の気温差が大きくなる季節です。衣類で上手に調整して元気に過ごしましょう。

今月もお楽しみします。

## とびひに気を付けよう

とびひは夏の疲れが出る8月の終わりから9月頃によく見られます。虫刺されの跡や傷に菌が付いて発症することが多いのです。



「傷が治ってキレイになる」  
「おなかの傷が治らない」

と、このようにとびひの始まりのサインであることも、やがて、かゆみの強い水疱ができてきます。これを、引っ掻いてしまうと、あとという間に全身に広がってしまいます。水疱を見つけたら、舐めたり、掻いたりせずにガーゼで覆うようにして、全身に広がらないようにしていきましょう。

### とびひ (伝染性膿痂疹) 8

皮膚の感染症のひとつ。原因となる菌は黄色ブドウ球菌や溶血性レンサ球菌(溶連菌)黄色ブドウ球菌は鼻の中、のど、皮膚、便などに常在する細菌です。

虫刺されの他、アトピー性皮膚炎やあせもからの二次感染も多いので皮膚ケアは予防の1つです。

潜伏期間：2～10日

登園基準：患部が乾いていること  
患部が覆われていること

※ 顔・豆粒部・全身に広がった場合、家庭保育をお願いますとともに、治療証明書の提出をお願います。



## おうちでできる とびひ 予防



### 1. 手をキレイにする

指についた細菌をキレイに洗うことで感染経路をなくします。

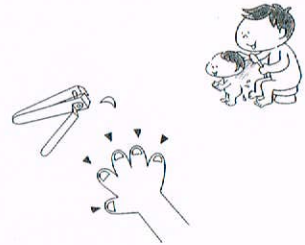


### 2. 毎日、体を洗う

皮膚表面には原因となる黄色ブドウ球菌がいますので、体を洗うことは予防のひとつです。また、汗やホコリで汚れた皮膚をキレイにすることで皮膚の防御機能が回復し、かかりにくくなります。

### 3. 爪を切る

爪が長いと皮膚を傷つけやすくなります。爪が短いと汚れや細菌が、爪の間に入りやすくなります。



### もし、かかってしまったら...

患部をガーゼで覆い、早めに受診をお願います。お風呂は家族間の感染を防ぐ為、最後に(1人)で。爪の確認をお願います。更にガーゼは、毎日交換してください。

## 咳に気を付けたい季節です

急に気温が下がる、台風が多く発生する等で咳が出やすい季節です。繰り返す場合は喘息など、定期的にフォローする必要がある病気が隠れていることもあります。又、乳児クラスを中心に流行しやすいRSウイルス感染症も咳が目立つ病気です。毎年9月頃から流行が目立ちます。

熱が出なくても咳が目立つときは、受診をお願います。

### RSウイルス感染症

潜伏期間：2～7日  
主な症状：発熱・鼻水・せき・喘鳴(せき・おび)等  
※ RSウイルス感染症は登園許可書が必要な病気です。

ウイルスが小さい為、気管支炎、肺炎を起しやすいため、お母さんもお気を付けてください。



## お知らせ

乳幼児医療証をお持ちの方は、10月1日に更新されます。提出用の封筒を既に郵送しますので、コピーの提出をお願います。詳しくは、9月下旬頃に再度、お知らせ致します。

## 9月の保健行事

- 13日(木) 0才健診 計測(くわん組)
- 20日(水) 計測(みかん組・りんご組)
- 21日(木) 計測(ぶどう組・おらん組・すいか組)

